
奈良県大芸術祭実行委員会 第12回総会

奈良県障害者大芸術祭実行委員会 第7回総会 議事録（要旨）

1 日時：令和3年2月24日（水）16時00分～17時00分

2 場所：ホテル日航奈良 4階「飛天」

3 出席者：荒井会長以下 実行委員会委員11名（代理出席含む）

4 報告案件：令和2年度「奈良県大芸術祭」「奈良県障害者大芸術祭」開催報告

5 議事：

第1号議案 令和3年度「奈良県大芸術祭」「奈良県障害者大芸術祭」実施方針（案）

第2号議案 奈良県大芸術祭実行委員会 令和3年度収支予算（案）

第3号議案 奈良県障害者大芸術祭実行委員会 令和3年度収支予算（案）

5 意見交換：

（1）「奈良県大芸術祭」「奈良県障害者大芸術祭」の一本化名称（案）について

（2）その他

【報告案件：令和2年度「奈良県大芸術祭」「奈良県障害者大芸術祭」開催報告】

▼報告内容について了承された。

【第1号議案：令和3年度「奈良県大芸術祭」「奈良県障害者大芸術祭」実施方針（案）】

▼実施方針（案）の内容は追加も認めるとのことです了承された。

▼その他各委員からの意見は下記のとおり。

- ・買い物に行った場所、食事に行った場所など何かの目的で行った場所で芸術文化が目に触れる、という、複合的な目的で楽しみを作ると言うことをイオンモール以外でも検討してはどうか。
- ・何かの「ついで」に見ると言う仕組みはとても大事だが来られない人もいるため、動画配信と周知がとても大事であると考え。
- ・街中で行うに際し、市町村とまちづくりの一環で調整すると、よい場所が見つかるかもしれない。
- ・県全域ではなく、場所を特定して、期間中いつもその場所で何かをやる、というのも良い。
- ・芸能まつりは1日での開催案となっているため、期間中スポットで何日か行うのはどうか。
- ・県内各地をオンラインでつないで各地の催しを紹介したり、会議システムを活用してはどうか。ネットを通じての参加も広がっていく。
- ・センターを作って、そこでは常時色々な会場から集めた映像を流しておくのはどうか。県内の物理的距離を縮めるためのネットやホールの活用方法について検討が必要と考える。
- ・コロナ対策予算をアーティスト出演に使うこともできる。市町村の空き家や商店街の振興などでアーティ

ストを呼んで配信ありで何かやってもらおうと、市町村の協賛金や負担金を得られる可能性がある。プロデュース機能があるといい。

- ・イベントの認知度が低いため、広報手法の検討が必要。SNS は予算を割けば割いた分だけ結果が出るため、そのあたりの活用方法についても検討してはどうか。

【第2号議案：奈良県大芸術祭実行委員会 令和3年度収支予算（案）】

【第3号議案：奈良県障害者大芸術祭実行委員会 令和3年度収支予算（案）】

▼予算案について了承された。

▼ただし、追加が出た場合はその時考え、この予算しか認めないというわけではない。

【意見交換：「奈良県大芸術祭」「奈良県障害者大芸術祭」の一本化名称（案）について】

▼令和3年度より「奈良県みんなでのしむ大芸術祭」へ一本化するということで委員の賛同多数により決定。

▼「文化の力で奈良を元気に！」はそのまま使用する。

▼その他各委員からの意見は下記のとおり。

- ・「障害」の「害」は資料等においてひらがな表記を行うこと。
- ・「みんな」は障がい者のみならず、LGBTQの方や高齢者などあらゆる人を含んで取り組んで行く。
- ・あらゆる人が含まれるため、色々な補助金の使用についても検討すること。